

福井河川国道事務所

資料配付

解禁日時

平成24年9月10日

14時00分

件名

九頭竜川堤防(左岸27.2km付近)に陥没が発生しました。
応急復旧は完了

概要

- ・9月6日午後2時頃 九頭竜川左岸堤防27.2km付近で堤防の陥没が発見されました。
- ・同日18時までに応急復旧を完了しています。
- ・9月7日 専門家による現地調査を実施し、本格的な復旧に向けて助言をいただきました。
- ・福井河川国道事務所では、同様な箇所がないか、管理する九頭竜川・日野川で一斉点検を実施しました。
- ・調査した結果、今回発見した場所から上流100mの場所で補修が必要な箇所を発見しています。

取扱い

同時配布

福井県政記者クラブ

〈問い合わせ先〉

近畿地方整備局福井河川国道事務所
電話:0776-35-2661(業務時間中)

副所長(河川) 宇野 孝一(内線204)
河川管理第一課長 竹中 宏徳(内線331)

現地の状況

9月6日14時頃、九頭竜川左岸27.2km付近（永平寺町松岡神明地先）にて、九頭竜川の維持作業を実施している作業員より、堤防に異常があるとの連絡があり、職員が現地へ向かったところ堤防の陥没（幅2.0m深さ0.6m法長1.0m）を確認しました。

対応

18時までには陥没した箇所を土嚢とブルーシートで覆いロープで進入を制限するなどの応急的な処置を完了しています。

9月7日15時より、専門家（荒井 克彦 福井大学名誉教授）による現地調査を実施しました。

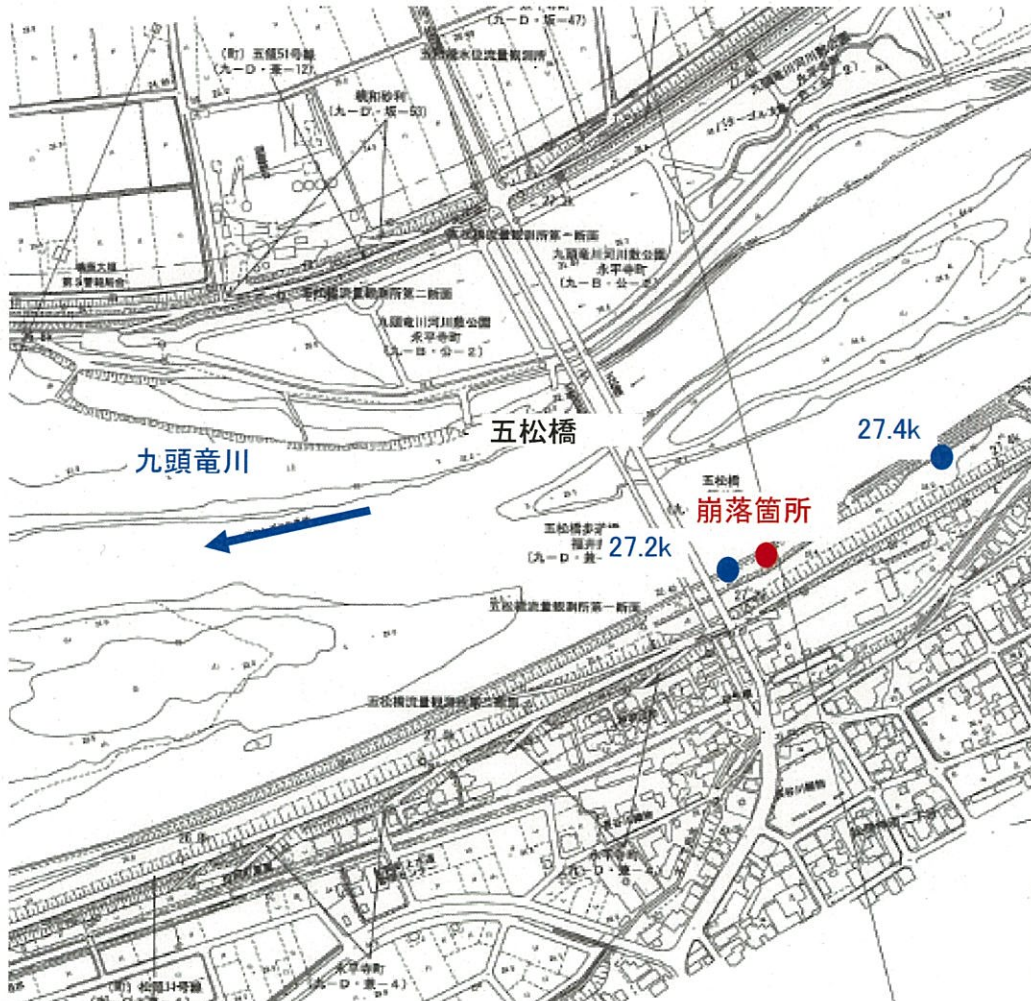
その結果、崩落した土砂の奥からモグラによると思われる空洞を確認しました。この陥没が発見された日は、福井市では、累計88^分時間最大44^分の降雨があったことから、堤防天端の水溜りから堤防内に浸透した水がモグラ穴を通して堤防法面に多量に流出し、堤防法面の表層を緩めたことと、堤防天端の水が堤防表面に流れたことが重なって陥没が生じた可能性が高いと推定されます。

今後について

福井河川国道事務所では、9月7日より同様な箇所が発生していないか、管理している九頭竜川、日野川を一斉点検したところ、陥没までにはいたっていないが、同様な箇所を1箇所確認しました。応急的な復旧をおこなった後、有識者の意見を聞きながら復旧作業にかかります。

引き続き河川巡視等で異常箇所の早期発見に努めます。

位置図



被害発生状況



荒井 福井大学名誉教授による調査



モグラによるものと思われる穴

応急復旧状況



土嚢を充填



ブルーシート+トラロープで保護